

施策分析シート（平成29年度）

No1

施策名	障がい者の住まい・日常生活に対する支援	施策No	02-08	部課名	福祉部障害者福祉課		
				課長名	本木 内線 2680		
関連部課名							
行政評価事業体系	分野	生涯健康都市					
	政策	02	高齢者や障がい者が安心して暮らせる社会の形成				
目的	障がい者が、障がいの種別や重さにかかわらず、住み慣れた荒川区にいつまでも安心して住み続けられる環境を整備する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		26年度	27年度	28年度			
	福祉の充実	3.04	3.07	3.05	お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		26年度	27年度	28年度	29年度見込み		目標値(38年度)
	区内グループホーム定員数(人)	71	76	58	70	110	
	居宅介護月利用時間(時間)	5,947	5,803	3,659	6,500	8,600	
	生活介護施設定員数(人)	98	98	100	110	120	
	就労継続支援A型及びB型作業所定員数(人)	313	332	350	370	690	

(単位:千円)

行政コスト計算書	行政費用	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		給与関係費		61,912		行政収入		0	
		物件費		674,156		地方税等		0	
		維持補修費		0		国庫支出金		1,386,393	
		扶助費		3,078,680		都支出金		724,680	
		補助費等		73,485		分担金及び負担金		0	
		減価償却費		27,114		使用料及び手数料		206	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		その他		272,886	
		賞与・退職給与引当金繰入額		2,887		行政収入合計(a)		2,384,165	
		その他行政費用		0		行政収支差額(a)-(b)=(c)		1,534,069	
行政費用合計(b)		3,918,234		金融収支差額(d)		34			
特別費用(g)		0		通常収支差額(c)+(d)=(e)		1,534,103			
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0		特別収入(f)		0			
				当期収支差額(e)+(h)		1,534,103			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	27年度	28年度	差額	勘定科目	27年度	28年度	差額
		収入未済		269		流動負債		2,887	
		不納欠損引当金		0		還付未済金		0	
		その他の流動資産		0		特別区債		0	
		有形固定資産		1,486,069		賞与引当金		2,887	
		土地		1,144,760		その他の流動負債		0	
		建物		1,108,920		固定負債		76,742	
		建物減価償却累計額		767,611		特別区債		41,000	
		工作物等		20,394		退職給与引当金		35,742	
		工作物等減価償却累計額		20,394		その他の固定負債		0	
無形固定資産		0		負債の部合計		79,629			
建設仮勘定		0		正味財産		1,406,709			
その他の固定資産		0		正味財産の部合計		1,406,709			
資産の部合計		1,486,338		負債及び正味財産の部合計		1,486,338			

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>障がい者の保護者の8割以上が、保護者や家族の支援を受けられなくなった後（いわゆる「親なき後」）も、子どもに荒川区で暮らして欲しいと望んでいる。（『親なき後の支援に関する研究プロジェクト報告書』荒川区自治総合研究所）</p> <p>住み慣れた地域で、少人数で個々のニーズに沿った支援を受けながら生活することができるグループホームの需要は高まっており、区内の定員数も年々拡大している。</p> <p>身体障がい者を中心に、適切な障害福祉サービスを受けることで、住み慣れた自宅での生活を継続できるため、居宅介護利用者も増えている。</p> <p>特別支援学校の卒業後の進路として、生活介護施設希望者が増加傾向にある。</p> <p>手帳所持者数の増に伴い障害福祉サービスの利用に係る扶助費が年々増加しており、行政費用のうち扶助費が約78%を占めている。</p>
課題	<p>適切な支援を受けながら、日中の活動先に通い、自立した生活を送るためのグループホームの更なる拡充が求められている。</p> <p>自宅での生活を続けるに当たり必要な障害福祉サービスを受けられることができるよう、障がい者自身による主体的な障害福祉サービスの活用をサポートする体制が求められている。</p> <p>生活介護施設の拡充と合わせて、医療的ケアが必要な障がい者への対応が求められている。</p>
今後の方向性	<p>地域での生活が定着するよう、民間グループホームの運営の支援を継続するとともに、グループホームを必要とされる方が、地域のグループホームに入居できるよう、その誘致をより一層進めていく。</p> <p>自宅での生活を継続するための適切な障害福祉サービスを、必要とする方に届けられるよう、民間事業者との連携を進め、サービスの質が向上するよう努めていく。</p> <p>生活介護施設の誘致を積極的に進めるとともに、医療的ケアが必要となる重度の障がい者が安心して生活介護施設に通所できるよう、環境整備を進めていく。</p> <p>乳幼児期から学齢期、青年期、壮年期、高齢期へと生活ステージに合わせて移り変わるニーズに対応するため、障がい者が、自分自身に必要なサービスを自己選択・自己決定するための支援を行い、希望する生活を続けるための切れ目ない障害福祉サービスを提供していく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
29年度	30年度	
重点的に推進	重点的に推進	障がい者が地域で安心して暮らし続ける支援の必要性は高いため、重点的に推進する。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のため の分類		分類についての説明・意見等
		27年度	28年度	29年度	30年度	
障がい者施設介護・訓練 等給付費支給事業	08-05-07	1,440,668	1,496,694	継続	継続	現状の規模で実施する。
ホームヘルプサービス費 支給事業	08-05-08	516,444	534,690	推進	推進	心身障害者(児)が在宅生活を送るために 推進する。
障がい者グループホーム 費支給事業	08-05-09	431,606	471,363	重点的 に推進	重点的 に推進	障がい者が地域で安心して暮らし続け るための支援策を推進する。
短期入所給付費支給事業	08-05-10	144,924	143,591	継続	継続	現状の規模で実施する。
日常生活用具給付事業	08-05-14	32,054	32,737	継続	継続	現状の規模で実施する。
移動支援事業	08-05-15	315,252	320,740	推進	推進	障がい者の社会参加を促進するために 重要な事業である。
訪問入浴サービス事業	08-05-17	3,410	3,939	継続	継続	現状の規模で実施する。
自動車運転免許取得・改 造助成事業	08-05-19	608	262	継続	継続	現状の規模で実施する。
重度脳性麻痺者介護人派 遣事業	08-05-21	945	945	継続	継続	現状の規模で実施する。
留守番看護師派遣事業	08-05-22	8,534	8,449	継続	継続	現状の規模で実施する。
補装具費支給事業	08-05-23	39,909	50,821	継続	継続	現状の規模で実施する。

理美容サービス事業	08-05-24	358	347	継続	継続	現状の規模で実施する。
寝具洗濯乾燥消毒事業	08-05-25	91	46	継続	継続	現状の規模で実施する。
配食サービス事業	08-05-26	187	171	継続	継続	現状の規模で実施する。
福祉電話事業	08-05-27	466	411	継続	継続	現状の規模で実施する。
緊急通報システム事業	08-05-28	318	311	継続	継続	現状の規模で実施する。
障がい者紙おむつ購入助成事業	08-05-29	18,871	18,252	継続	継続	現状の規模で実施する。
住宅設備改善給付事業	08-05-30	1,483	1,282	継続	継続	現状の規模で実施する。
盲ろう者生活支援推進事業	08-05-31	149	109	継続	継続	現状の規模で実施する。
福祉タクシー事業	08-05-32	98,793	98,018	継続	継続	現状の規模で実施する。
コミュニティバス障がい者利用負担助成	08-05-33	6,817	6,844	継続	継続	現状の規模で実施する。
自動車燃料費助成事業	08-05-34	8,691	8,281	継続	継続	現状の規模で実施する。
グループホーム消防設備整備補助事業	08-05-46	3,050	0	推進	継続	現状の規模で実施する。

障がい者グループホーム 及び緊急一時保護寮運営 事業	08-05-51	21,279	25,032	休止・ 完了	休止・ 完了	障がい者が地域で安心して生活できる 住まいの確保、介護者支援及び介護者不 在時の障がい者支援のため、重要な事業 であるが、老朽化している現施設は廃止 した。今後は東日暮里二丁目障がい者グ ループホームで事業を行っていく。
尾久生活実習所運営事業	08-05-52	231,719	237,188	継続	継続	区立の通所施設であり、円滑な事業運 営に取り組む。
荒川生活実習所・荒川福 祉作業所運営事業	08-05-53	209,158	218,872	継続	継続	区立の通所施設であり、円滑な事業運 営に取り組む。
障がい者グループホーム 等施設整備事業費	08-05-56			重点的 に推進	重点的 に推進	28年度末で廃止となる区立障害者グルー プホーム（ピアホーム西日暮里）の後継 となる東日暮里二丁目障がい者グルー プホームの整備を進め、障がい者の地域生 活の場を確保する。
スクラムあらかわ運営等 事業	08-05-57	120,919	120,135	推進	推進	障がい者の地域生活の拠点として、安 定した施設運営を推進する。
重度障がい者グループ ホーム運営支援事業	08-05-67	2,023	8,222	推進	推進	重度障がい者が地域で安心して暮らし 続けるための支援策を推進する。
重度身体障がい者グルー プホーム運営支援事業	08-05-68	16,078	16,078	推進	推進	重度障がい者が地域で安心して暮らし 続けるための支援策を推進する。
親なき後支援事業	08-05-69	7,065	1,793	重点的 に推進	重点的 に推進	障がい者が地域で安心して暮らし続け るための支援策を推進する。
障害者歯科対策事業費	09-02-28	710	700	推進	推進	障がい者の口腔保健向上のため重要な 事業である。
合 計		3,682,579	3,826,323			